

## 相模原市保育連絡協議会 保育専門講座Ⅱ アンケート結果

「いま、子どものからだと心の育ちを考える！」

講師：野井 真吾先生

平成 29 年 9 月 20 日（水） 18：30～20：00

参加者\*185 名 アンケート集計：123 枚

- ・とてもわかりやすい研修でした。活かしていきたい・保護者に伝えたいです。(多数)
- ・納得できる内容でした。説得力がある。大人にとっても大切な話。(多数)
- ・実践できそうなこと『ワクワク・ドキドキ』を実現してあげられるように工夫していきたいです。(多数)
- ・研修の中で、ドキワクタイムを行っている学校の取り組みが印象的でした。
- ・2歳児担当です。毎日ケンカが絶えませんが、今日の話聞いて“ワクワク・ドキドキ”が足りないと日々の保育を反省、見直したい。
- ・光・暗闇・外遊び・光を浴びることの大切さ、体を思いきり動かすことの大切さがわかりました。(多数)
- ・最後の“良いかげん”という言葉がとても印象に残りました。(多数)
- ・光・暗闇・外遊び、ワクワクドキドキ、よい加減。この3つの提案に納得できました。
- ・楽しんで仕事ができるような余裕がもてるくらいの頑張りをしていきたいです。
- ・新しい視点からこどものからだ・成長について学ぶことができて良かったです。(多数)
- ・じゃれつきあそび取り入れたいです。(多数)
- ・何気なくやっていた戸外遊びの効果を聞き、意識的にしていきたい。(多数)
- ・外遊びの大切さを感じ、明日から少しでも外に出る時間を作ってみようと思いました。(多数)
- ・外遊びをしなくなったと言われている中、そのような環境がないと改めて思いました。
- ・子どもの“ワクワク・ドキドキ”が大切なのはよくわかりました。でも現実には地域（近所）からの苦情などで大声も出せずにいます。でも何ができるかな・・・と考えることもあり、何だか少し楽になりました。
- ・あまり気負い過ぎずできる取り組みを考えていこうと思いました。(多数)
- ・あっという間の研修でした。又聞きたいです。
- ・普段生活する中で疑問に思っていたことの正解がわかったような気がした内容でした。
- ・日本人は働き過ぎ！！たくさん寝て心も体も happy に過ごしたいですね。
- ・今日の話聞いて子どもも大人もかわいそうだなと思った。頑張りすぎない取り組みを行いたいです。
- ・「頑張りすぎ」という言葉にドキッとしました。もう少し肩の力を抜く事も大切と聞き、ありがたく感じました。
- ・保育ではもちろん、将来自分が子育てする時にも大切になってくると感じました。

- ・一度内容を聞いたことがあるが、また再確認することができました。
- ・子どものからだの「おかしさ」について原因・改善に向けて考えることができました。
- ・元気を引き出すための3つのポイントをわかりやすく聞くことができました。
- ・3つの仮説的提案を持ち帰り、子どもたちに行い、元気を引き出していきたいです。
- ・懇談会などで参考にさせていただきたい内容だと思いました。
- ・子どもが輝いて夢中になれる遊びを考える必要があると思いました。
- ・ネット中毒の怖さをもっと真剣に考えるべきと思いました。
- ・スクリーンに関することは自分でもドキッとしました。
- ・約束事を決めて生活リズムを整えていけるように声かけをしていきたいです。
- ・子どもが「疲れた」眠れない等のメカニズムがわかり勉強になりました。
- ・子どもが午前中ゴロゴロしている理由を学ぶことができました。
- ・子どもたちがなぜだるいのか、夜寝る時間が遅いのか理由が分かり、今度どのようにしていけば良いのかを考えていきたいです。
- ・体調は良いのに元気がない、些細なことでケンカになるなどクラスの子どもにも思い当たることばかりで興味深かったです。
- ・科学的な結果に普段考えていたことがあらわれていたことに嬉しく思いました。
- ・普段生活する中で疑問に思っていたことの正解がわかったような気がした内容でした。
- ・私の働いている園でも早寝・早起き・朝ごはんをしているが、定着していない。子どもに対して働きかけていても大人の協力が無いと無理だと感じていました。早寝・早起きという言葉だと大人も取り組みにくいと感じました。
- ・子どもたちにとって何が大切か考えられる場となりました。私たちが常に行っていることがどこまでできているのかなと振り返ることができた。
- ・人間らしい生活をするのが基本なのだと思います。
- ・少しの工夫で子どもたちの脳に良い刺激があるのだと感じました。
- ・朝あそびは興味があります。やってみたいです。
- ・大自然の中で目一杯体を動かし、遊びたいことを子どものうちにするのは大切なのだと感じました。大人が子どもの見本になっていかなければいけないと思いました。
- ・子どもが思いきり遊ぶ事を保証する必要があると思いました。危ないからダメと言ってしまいがちですが大切にしていきたいです。
- ・自分が子どもに「ダメだよー」と行動を抑制している事がありました。もっと自由に視野広く物事をとらえるようにしてみようと思いました。
- ・今は何にでもダメと言わないといけない状況なので、日々の関わりに反省、改善していきたいです。
- ・子どもが子どもらしく過ごせる環境を作っていきたいと思いました。
- ・保育の中で違和感を感じる子が多くなっていると感じていました。でも実際にすべきことが分からず、“この子はこういう子”と決めつけていたことを反省しました。
- ・朝グズグズしている子どもがいますが、そういうお子さんは登園がギリギリでした。朝10分の遊びの大切さがわかりました。保護者に伝えたいです。
- ・今、私たちが取り組んでいることは正しかったのだと改めて感じました。今後も子どもたちの為に頑

張っていききたいです。

- ・理想だけでなく、ハードルを下げて私たち保育士や保護者ができそうなことを提案して頂けたので構えずに考えることができました。先日、野井先生の講義を聞いた同僚に勧められて参加したが、良かったです。
- ・また野井先生の研究の話を聞いてみたいです。(多数)
- ・今の子ども達の現状と社会の発達とがリンクしました。
- ・散歩は体力をつけるためだけではなく、メラトン分泌を促すために大切である事が分かったため、散歩の機会を増やしていきたいです。
- ・ダイナミックな遊び、散歩、毎日していたことが今できなくなっている保育。当時の保育は良かったのだと改めて感じました。
- ・園長など上の人が変わらなければ、下の人達は変わらない。保育内容も変わらないと感じました。
- ・自分の園、クラスで取り組みたいと思う活動の話が聞けました。
- ・体と心の育ち、睡眠との関係性がとても分かりやすく、実践できることから始めていきたいです。
- ・具体的な結果を見ながら子どものからだと心の育ちについて学ぶことができました。
- ・子どもの睡眠の様子を保護者から伺いながらより良い環境を作っていきたい。
- ・我が家でも電気を暗くしてみようと思います。
- ・保護者に向けて伝えたい、伝えやすい話しでした。
- ・子どもに強制的に何かさせるより、自らやりたい、楽しいと思うことをしているだけで体に良いのだと実感しました。
- ・じゃれつき遊びについて良いと思いました。
- ・クラスの落ち着きがなく悩んでいた。人数が多いことを言い訳にできてしまっていたが、じゃれつき遊びをもっと増やしていきたいです。
- ・もっと日本全体が海外に視点を置き、意識が変われたらいいなと思います。
- ・資料の字が小さかったのが残念でした。

#### 【今後の希望講座】

- ・保育指針について
- ・気になる子へのかかわりについて
- ・楽しい手あそびやリトミック
- ・子どものからだ、体力づくり、集中力や意欲を育てることについて
- ・もう一度同じ内容でもっと多くの方に聞いてほしい。野井先生
- ・鶴見短期大学 河合先生
- ・運動遊び
- ・保護者対応について
- ・大豆生田先生